

団体名			事業名	交付予定額 （千円）	融資予定額 （千円）	金融機関	事業背景	事業概要	地域への貢献
1	北海道	美深町	ピフカピアビレッジプロジェクト	13,303 <div>国費：9,977 地方費：3,326</div>	13,303	北星信用金庫	<ul style="list-style-type: none">●美深町は豊かな自然に恵まれ、総面積の85%を占める森林で育まれた水は、名水百選に認定された湧き水や十六滝を形成し、観光資源となっている。●町の人口は、ピーク時の3割以下の約3,500人まで減少し、空き家の増加、コミュニティの希薄化、賑わいの喪失といった課題がある。	<ul style="list-style-type: none">●町の中心部にある元給食センターの空き物件を改修し、クラフトビールの醸造と飲食事業を行う。●湧き水や農産物（ブルーベリー、メロン、ハチミツ、ハーブ等）を使ったオリジナルビールの開発、地元食材（チョウザメ、美深牛、手作りチーズ等）を使ったメニューを提供。●町の中心部に町内外の人が交流する場を創出し、周辺の観光資源（温泉、湿原、キャンプ場等）との回遊性を高める。	<ul style="list-style-type: none">●町内外の人が集うことにより、コミュニティや賑わいを創出●移住・定住、地域間交流のきっかけ作りとなることが期待される●地域資源を使った新たな地域商材が流通し、経済が活性化
2	千葉県	勝浦市	地域資源を食べる、楽しむことからはじまる地域経済循環を促す住・職連動型交流拠点事業	13,700、うちR7:7,283 <div>国費：9,133、うちR7:4,855 地方費：4,567、うちR7:2,428</div>	13,700	千葉銀行	<ul style="list-style-type: none">●勝浦市は、過ごしやすい気候、首都圏からのアクセスの良さといった強みを背景として、近年、移住希望者が増加。●一方、地域になじみず定住につながらないケースもあり、地域交流や就業支援が求められている。●市内には、昭和期に建設された学生アパートが100棟以上存在し、そのうち2割は未入居のまま老朽化している。	<ul style="list-style-type: none">●学生アパートを改修し、共有スペース「Umi-labo」の運営、民泊（お試し居住）、コミュニティアパート賃貸の事業を行う。●アパートに併設する「Umi-labo」では、「食（地元食材や郷土料理等）」、「体験（サーフィン、釣り等）」といった地域資源を活用した交流プログラムや、地元企業のワークショップなどを開催するほか、勝浦産竹の灯籠や食器などを展示販売する。●移住者の就業・定着を支援し、遊休不動産の再生と地域経済循環の創出を図る。	<ul style="list-style-type: none">●移住・定住の促進、地域交流による人とのつながり強化●地元企業の雇用確保●地域資源の活用、地元工芸品等の展示販売により、生産者等への好影響、地域活性化に寄与●空き家・老朽化問題の解消につなげる
3	千葉県	睦沢町	月夜湖むつざわオートキャンプ場における「睦沢町の魅力発信拠点」創出事業	5,099 <div>国費：2,549 地方費：2,550</div>	5,100	千葉銀行	<ul style="list-style-type: none">●睦沢町では、若い世代の人口減少や関係人口の伸び悩みといった課題があり、町の魅力発信や滞在型の体験機会の創出が求められている。●主要産業である農業の活力低下も課題であり、農作物や特産品の販路拡大、ブランド化、高付加価値化が必要。●町内には夜間滞在型の交流施設が少なく、経済効果が限定的。	<ul style="list-style-type: none">●町有ダム施設のキャンプ場にBBQ施設を整備し、飲食・キャンプイベント事業を行う。●「むつざわ米」をはじめとした地元農作物、特産の卵などを提供するとともに、キャンプイベントを実施することで、自然豊かなキャンプ場で滞在型の体験機会を創出。●町外からの訪問者と地域住民との交流の場づくり、町の魅力発信を行うとともに、地域経済循環を創出することにより、地域活性化を図る。	<ul style="list-style-type: none">●豊かな自然や地元特産品などの町の魅力発信●農作物などの特産品を活用した商品メニューの開発・提供により、ブランド化、高付加価値化が図られる●町内での消費拡大、滞在時間延長による経済効果●新たな交流拠点の創出による関係人口の増加、賑わいの創出
4	和歌山県	田辺市	世界遺産・熊野古道沿いの耕作放棄地を活用したグランピング事業と地域住民と共に創る体験型観光事業	29,955 <div>国費：22,466 地方費：7,489</div>	45,000	紀陽銀行 日本政策金融公庫	<ul style="list-style-type: none">●田辺市は、世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」がつなぐ質の高い観光のまちを将来像として掲げ、文化的景観や周辺景観の保全・形成に取り組んでいる。●耕作放棄地が増えており、周辺景観を良好な状態で保全することが困難となっている。●若者・女性地域に定着できる雇用やライフスタイルの選択肢が乏しく、地域の持続的な活力と次世代の担い手不足が深刻化している。	<ul style="list-style-type: none">●女性の移住者が、熊野古道 中辺ルート上の人気スポットである高原（たかはら）地区の広大な耕作放棄地にグランピング施設を整備し、体験型観光事業を創業。●建築資材や家具には田辺市産紀州材を使用し、地元特産品や工芸品の提供・販売、田辺市発祥の紀州備長炭の炭焼き体験などの体験プランを提供。●子育て中の女性も働きやすい勤務体系やリスキングプログラム、和歌山大学観光学部と連携した実践型インターン、中高生への運営・マーケティングの体験プログラムを実施。「学び＋成長＋働ける」を実現し、地域の若者・女性のキャリア形成支援モデルを構築。	<ul style="list-style-type: none">●世界遺産の文化的景観や周辺景観の保全●体験型観光の造成により、地域資源を活かしたまちづくり、にぎわい創出につながる交流環境を形成●地域の若者・女性のキャリア形成、インターンによる地域観光産業への就職や起業の後押し、中高生向けプログラムによる将来的なUターンを促し、地域の持続性を確保●大規模災害発生時には、避難施設として開放し、備蓄食料の配布、バックアップ水源を供給。